

①下ヶ戸地区の屋敷と古木

緩やかにカーブした細い道沿いに、大きな屋敷が点在しています。古木の屋敷林には、樹齢130年以上のシイノキや、樹齢約120年のケヤキがあり、大木で見応えがあります。屋敷の広さや門の大きさにも驚かされます。

②西音寺

真言宗豊山派の寺で、新四国相馬靈場第74番札所です。現在は住職が不在のため、下ヶ戸地区の皆さんのが管理しています。寺の奥には木漏れ日がそぞらハ幡神社や庚申塔などがあります。

③川村学園女子大学（桜八景）

日の出通りに面し、JR天王台駅から徒歩で20分程の所にある、昭和63年開学の白亜の校舎が眩しい女子大学です。キャンパス内に植えられた約300本の桜は大きく育ち、開花シーズンには見事な桜並木が一般に開放され、市内外から多くの人が訪れます。

④かじ池（水八景）

レストラン“かじ池亭”の敷地内にある、利根川の氾濫によりできた直径約70mの湧水池です。名前の由来は、その昔、ここで落武者が鍛冶屋をしていましたことからと言われています。野鳥も訪れる池には、6～10月はアジサイや睡蓮が咲き、見た人からは「モネの『睡蓮』」のようだと言われています。見学の際は10時～15時にお店へお声がけください。隣りのNEC我孫子事業所内にも、非公開ですが同時期にできた池が4つあります。保全活動が行われています。

⑤日の出通りと四季の道

川村学園女子大学とがじ池が接する青山台から中峰までまっすぐ続く道は“日の出通り”、かじ池から湖北台へと南へ伸びる道は“四季の道”と名づけられています。沿道の田んぼは遠くに斜面林を望み、秋には黄色に輝きます。

⑥岡発戸・都部の谷津

（斜面林・田園八景、水八景、ハケの道八景、成田線車窓八景）

斜面林や湧水、水田、湿地などの貴重な自然環境が残されている、面積約37ヘクタールの市内最大の谷津です。この谷津の中の景観が、我孫子のいろいろ八景の4つのジャンルで八景に選ばれています。春には木々や草花が芽吹き、夏には青々とした水田が広がり、秋には稻が黄金色に輝きます。我孫子市の谷津ミュージアム事業構想のもと、市民団体と市が協力して谷津を保全しており、人の手が入ることで自然が守られています。また、谷津の中程から見える我孫子ゴルフ俱楽部の桜は、成田線の車窓からも見えるほど見事な景観となっています。市民の宝である谷津は、大事に守っていきたい場所です。

⑦近隣センターごめりび

戦前は近衛文麿の別荘地であったこの地に、平成17年に開館した、木材を多用した山荘風の近隣センターです。我孫子ゴルフ俱楽部に隣接し、ヒマラヤスギなどの樹木をできるだけ残した閑静な環境では、我孫子市景観賞を受賞しています。いろいろな催しが開かれ、市民活動の場として、市民に親しまれています。



コース走行距離
4kmで歩いた場合
歩数6900歩
<歩数861>
海岸沿い
海岸歩道

“守られた自然” かじ池・谷津を巡るコース



②西音寺



①下ヶ戸地区の屋敷と古木



③川村学園女子大学



⑦近隣センター こもれび